

# 知事記者会見の概要

日 時：令和8年6月5日（金）10:01～10:32

場 所：502会議室

出席記者：12名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 耳で聴くハザードマップの運用開始について

### 代表質問

- (1) 令和9年度政府の施策等に対する提案について

### フリー質問

- (1) 令和10年度前期NHK連続テレビ小説「ほんのモキチ」の制作決定について
- (2) 令和7年出生数、合計特殊出生率の公表に伴う所感について
- (3) クマの個体数管理について
- (4) クマの注意喚起対策について
- (5) さくらんぼのPRについて
- (6) 女性首長の産休取得について
- (7) 最上義光を主人公とした大河ドラマ制作に係る要望について

<幹事社：山新・時事・SAY>

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。

大変明るいニュースが飛び込んでまいりました。このたび、令和10年度前期のNHK連続テレビ小説に、上山市出身の歌人であり、医師である斎藤茂吉とその妻・輝子を描く作品「ほんのモキチ」の制作が決定したということで、大変よろこばしく思っております。県民の皆様が改めて郷土の偉人とその功績に誇りを持つ契機になるとともに、本県の魅力発信や観光誘客、交流人口の拡大につながる大きな機会になるものと考えております。

斎藤茂吉は、皆様ご存じだと思いますけども、日本の近代短歌を代表する歌人として日本文学史に大きな足跡を残すとともに、精神科医としても優れた業績を挙げました。また、生涯にわたり、ふるさと山形を深く愛し、蔵王連峰や最上川、四季折々の自然、人々の暮らしや営みを数多くの歌に詠み込みました。その功績は、現在も高く評価されており、県では「斎藤茂吉文化賞」「斎藤茂吉短歌文学賞」を設けまして、その偉業や志を今日に伝えているところです。県内外に数多くの歌碑が建立されるなど、茂吉は全国の多くの方々から今なお親しまれ、敬愛されております。郷土の偉人であり、本県の誇りであります。

今回のドラマでは、茂吉の妻・輝子を主人公として描かれるとのことで、これまでとはひと味違った視点から、茂吉の魅力や夫婦の物語に触れることができるのではないかと、県民の皆様とともに楽しみにしております。

このドラマを通して、ぜひ、多くの皆様方が茂吉の人生や作品はもとより、その原点となった山形県の歴史や文化、美しい景観にも関心を持って、交流人口、関係人口の拡大にもつながることを大いに期待しております。

## ☆発表事項

ここで私から発表が1点ございます。

災害時の被害を防ぐには、ご自分が住んでいる地域の災害リスクや避難所を事前に把握しておくことが大事になります。

このため、県では、視覚に障がいのある方や高齢者など小さい文字が読みにくい方、外国人の方が災害時に適切な避難行動がとれるように、6月からスマートフォンアプリ「耳で聴くハザードマップ」アプリの運用を開始しました。

アプリの機能として、現在地や検索した場所で想定される浸水の深さや土砂災害の危険性など、災害リスクを音声で確認することができます。また、最寄りの避難所を確認でき、音声と振動による誘導機能も備えています。更に、警報や注意報、避難情報を音声で確認することができます。

また、日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語に対応しています。

私もこのアプリをダウンロードし、操作をしてみました。現在地周辺の災害リスクを確認することができますので、平時から身近な災害リスクを知り、早めの備えや避難行動につな

げていただけるものと期待をしております。

このアプリはどなたでも利用できますので、県民の皆様には、万が一への備えとして、ぜひこのアプリをインストールしていただき、日頃から身近な災害リスクの確認をしていただくとともに、災害時の避難に活用していただきたいと思います。

次に、「やまがた紅王」の現在の姿です。(補足：知事が「やまがた紅王」の果実の育成状況を写したフリップを掲示する。)

昨日の写真ということでございます。いよいよ「やまがた紅王」が赤くなってきました。500円玉と並んでいますね。大きさは、すでに500円硬貨より大きくなっています。「やまがた紅王」の収穫は、6月14日頃から本格化すると聞いております。楽しみですね。

また、「佐藤錦」は収穫が始まっております。11日から15日頃には収穫のピークを迎えると見込まれております。「紅秀峰」は、17日から21日頃にピークとなる見込みとなっております。

さくらんぼの収穫・出荷作業は、短期間に集中するうえ、今年は昨年よりも収穫量が多くなる見込みのため、多くの働き手が必要です。

県では、「やまがた農業ぶちワーク」として、スマートフォンアプリを使用してアルバイトを募集しております。求人数は昨年と比べ、1.5倍に増えております。県民の皆様には、スキマ時間などを活用して、ぜひ収穫作業をお手伝いしていただければというふうに思っております。私からは以上です。

## ☆代表質問

### 記者

幹事社の時事通信、島田です。よろしく願いいたします。

先日行われた令和9年度政府の施策等に対する提案活動について伺います。知事は、各府省大臣らに面会されましたが、全体を通してのごたえはいかがでしょう。特に県民の期待が大きい山形新幹線米沢トンネルの早期実現や、喫緊の課題であるクマ対策、そして子育て支援の拡充について、大臣などから具体的で前向きな反応が得られたのかをお聞かせください。

### 知事

今週6月2日と3日の両日、田澤議長と共に、政府における今後の施策展開や、令和9年度の予算編成などに対する提案活動を行ってまいりました。

県選出国會議員と共に、地方の実情や本県の抱える課題などを「地方の声」として、6名の大臣に直接お伝えをし、意見交換できたことは、大変有意義であったと感じております。

まず、米沢トンネル(仮称)の早期実現につきましては、金子国交大臣から、国土交通省として鉄道関連予算をもっと確保できるように取り組んでいくというお話をいただくと

もに、地方インフラの必要性について認識を共有させていただきました。

米沢トンネル（仮称）は、長期的なプロジェクトでありますので、政府、そして JR と一緒に取り組んでいきたいというふうに思っております。

次に、クマでございます。クマ等の被害対策防止への支援につきましては、石原環境大臣、鈴木農水大臣とお話をさせていただき、本県におけるクマ被害の深刻な状況をご説明してまいりました。石原大臣からは、地方の厳しい状況を踏まえ、今年度、新たに実施される県境を跨いだ広域的な調査や、予算の確保に取り組むというお考えを示していただきました。

また、地元選出の国会議員である鈴木農水大臣には、現在、本県で検討を進めている「中間支援組織」についても、ご説明をさせていただき、ご理解をいただきました。

次に、子育て支援につきましては、内閣府の黄川田大臣から、保育士の処遇改善について政府を挙げて取り組んでおり、国全体で保育士の賃金を向上させるとともに、都道府県の間で賃金格差が広がらないよう、公定価格の算定方法見直しなども検討していくというお話をいただきました。

また、女性活躍につきましては、4月に政府が男女共同参画機構を立ち上げたので、地域と連携して進めていきたいというお考えをお聞きいたしました。

県を取り巻く様々な課題の解決に向けては、政府と県や市町村が、個別に対応するだけでは十分ではありません。政府と地方が歩調を合わせ、連携して取り組んでいくことが重要となります。そのためには、今回実施した政府への提案活動をはじめ、様々なチャネルを活用して、地方の声を政府に届け、政府の施策へ反映させていきたいと考えております。私からは以上です。

#### ☆フリー質問

記者

NHK の山川と申します。

冒頭お話がございましたが、朝の連続テレビ小説のことなんですけれども、期待感をお話いただきありがとうございます。その中で、県として、観光客とかもかなり増加するんじゃないかなという期待はあると思うんですけれども、そういう部分で、県として観光戦略とかですかね、今後どういったところができるんじゃないかとか、そういった部分のお気持ちとかもございましたらぜひ教えていただけますと。

知事

昨日、決定したというニュースをお聞きしたばかりなので、担当部とまだ話はしておりませんが、本当にこれはチャンスだなというふうに私は受け止めました。本県として、自然が豊かであるとか、食べ物がおいしいとか、温泉といった精神文化、そういったことを PR してきたし、徐々に知れ渡っていきつつあるかなとは思いますが、文化的な面も、

音楽でありましたり、この短歌でありましたり、あと俳句もですね、松尾芭蕉が逗留、最も長く滞在していたということもありまして、そういった文化的な風土もあるんだということ、しっかりと発信していけたらなというふうに思っています。

特に、斎藤茂吉は、「(斎藤) 茂吉記念館」というところもありまして、全国の短歌ファンからは知名度が高いと思うんですけど、足元の県民の皆さんからももっと誇りを持ってもらいたいとか、知ってもらいたいということがありますので、教育局や観光文化スポーツ部と合わせて、いろいろな取組みができるんじゃないかなと思っています。もちろん、観光といったところでもいろんなビジネスも可能性が出てきますのでね、何か前向きなことをいろいろ取り組んでいけたらいいなというふうに思っています。

記者

特に、上山出身というところがあると思うんですけど、斎藤茂吉ゆかりの地っていうか、県内にもたくさんあるんじゃないかなと思うんですけども、周遊するといった部分での発信とか、知事としてはどういったお気持ちですか。

知事

上山出身で上山だけがクローズアップされるということではないと思っています。蔵王を詠んだ歌もございますし、私の一番好きな歌、「陸奥（みちのく）をふたわけぎまに聳えたまふ（そびえたもう）蔵王の山の雲の中に立つ」という、ものすごいスケールの大きな歌を詠んでおられます。あと、最上川も詠んでおられますので、最上川も県内ずっと、（広範囲に）流れておりますので、あと、大石田に逗留したとか、疎開したとか、いろいろな茂吉ゆかりの土地がございますので、そういったことをしっかりとつなげて PR をし、県民の皆さんはもとより、県外、または海外の文化人にも、大いに関心を持って訪れていただければなというふうに思います。

記者

ありがとうございます。最後に1点だけお聞きさせてください。

別の話になるんですけども、人口の件で、去年1年間に県内で生まれた子どもの数が、前の年と比べて6%あまり減少して、17年連続で減少するという結果になりまして、こうした出生数が減り続けていることへの受け止めと、今後、県が行っていく少子化対策で、さらに強化が必要な点についてお伺いできればと思います。

知事

先日、3日に公表された令和7年人口動態統計によりますと、全国の出生数は67万1,236人となり、過去最少となりました。本県につきましても、出生数は4,380人となり、対前年比で319人の減少となりました。出生数の減少率で見ますと、全国で3番目に高く、東北・

北海道では2番目に高くなっております。

合計特殊出生率というのもあるんですけども、本県は全国順位が32位で、前年と同順位、東北では1位というふうになってますけど、あんまり人口減少と相関関係はどうかかな、ということもあって、あまりそこに力点をおいては見ないということにしております。出生数というところをしっかりと見ていきたいと思います。

減少の背景としましては、若い女性の減少や未婚化・晩婚化による従来からの出生数の減少傾向に加え、コロナ禍において出会いの機会が減少したこと、それが結婚の減少となり、出生数の減少につながっているというふうになっています。

それから、若者の結婚や家庭を持つことに対する意識の変化などにより婚姻数が減少していることも影響しているものと考えています。引き続き憂慮すべき状況にあるというふうに考えております。

全国的に見ても、出生数の低下など少子化に歯止めがかかっていない状況であります。県としましては、このたびの結果を踏まえ、若者や女性が生きやすい社会の実現に向けて、引き続き、政府や市町村とも連携しながら、若者の県内定着・回帰の促進をはじめ、結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援など、実効性のある施策になお一層しっかりと取り組んでまいります。

ただ、若者イコール結婚イコール出産というようなところばかり焦点をあてるのではなくて、若者を応援するという視点が最も大事なのではないかな、と思っておりますので、それは地域社会、また経済界とも連携して取り組んでいきたいというふうに思っております。

記者

TUYの山口と申します。

クマ関連で質問です。一昨日に宮城県で東北各県や国でのクマの個体数の管理などを行いたい、みたいな方針が話されたと思うんですけど、山形県ではいつ頃から実施したいとか何かありますでしょうか。

知事

クマの個体数ですか。既に、山形大学と連携してそういったことに取り組むといったことを聞いているところであります。今年度の事業として、環境エネルギー部でそういうのがありますし、ただ、クマに県境はありませんので、広域に周遊しているものですから、広域なところは政府でお願いしたいということをお願いしてきました。

今回、石原大臣からですね、「広域的なところについては取り組む」というお答えをいただいたので、ちょっとホッとしていますけれども、やっぱり県としてもそこをしっかりと取り組む必要があるな、と思っております。環境エネルギー部の事業としてどうでしたか。

環境エネルギー部次長

環境エネルギー部でございます。

大きな方向性といたしましては、今、知事からお話ありました通り、政策会議の際に大臣からもお話があったんですけれども、県境を越えて野生動物は移動しますので、ブロック単位ですね、県境を越える部分については国が生息数調査を今年度から開始するというふうに聞いております。

それと加えまして、本県独自のものとして、山の奥の方に果たしてどのぐらいクマがいるのかという生息密度を調査するような事業を昨年度からやっております、3年間でしっかりと方向性を見出すというようなことで現在取り組み中でございます。

国の施策と併せてですね、しっかりした対応を取っていきたいと思っております。

記者

あと、また別件のクマの質問がありまして、以前の会見でクマ出没特別警報についての話がありましたけど、何か今、動いている話とかがあったら教えていただけたらな、と思いません。

知事

はい。クマですけども、特別警報につきましては従来より1段階強い基準として設けることを検討している最中でございます。

先日の記者会見でも申し上げた通り、特別警報を発令する場合、山菜採りやキノコ採りなどの行動自粛を促すことや、対象エリアをどうするかといったことなどが想定されますので、そこは市町村の皆様のお声もお聴きしながら、お考えもよくお聴きしながら検討してまいります。

現在、担当部でおこなっている市町村へのアンケート結果を踏まえながら、実効性のある内容となるよう、要領の改正をおこないたいと考えているところです。その上で運用の開始時期というものも判断してまいります。

記者

ありがとうございます。

あと、最後になるんですけど、さくらんぼの件で、今年の収穫は期待できそうとのことでしたけど、ちょっと今日、知事の服がさくらんぼいっぱい豊作だな、と思ったんですけど、今日のために作られた服なんですか。知事が今着てらっしゃる服はPRのつもりでっていう感じですか。

知事

PRのつもりです。でも、私のために取っておきましたって店長さんから言われて、それ

はじゃあ買わなきゃいけないと思って、ちょっときついでだけでも買いました。

(ジャケットの)中の(洋服)は妹から描いてもらったというのがあって、さくらんぼの時期だけ着ております。

記者

共同通信の生田と申します。

先ほどの人口減と絡むところもあるんですが、少し前に京都の八幡(やわた)市長の川田市長が、女性首長として、現役としては初めて産休を取るってことを表明されて、ちょっと様々意見はあるんですけども、新たな事例として新しく道を開いてというところがあったかと思います。

長年女性首長として県を引っ張ってらっしゃる吉村知事のほうでも何かご所感などあれば聞かせていただけないでしょうか。

知事

はい。京都府八幡市の川田翔子市長が、現役の女性首長で全国初とみられる産休取得を表明されました。よくやってくれたな、と本当に良かったと私は思いました。

やはり、こうやって後進に道を開いてくださるということは本当にありがたいことだし、これから若い女性の活躍可能性というのは、どんどん広がるというふうに思っています。

男性に比べてやっぱり女性は出産というのがありますので、いろいろな状況や、展開がありますからね。極端に言えば仕事を辞めるというような選択をする方もおられるわけで、それは極端なことではありますけれども、やはり皆で協力し合って生命の誕生というものを喜び、また、サポートするということが大事だと思っています。

本当に思い切って道を開いてくださったな、という感謝の思いと、また、皆で応援しましょうというふうに申し上げたいと思います。

私もちょっと離れたところではありますけれども、「応援します」というふうに言いたいですね。

記者

河北新報の渡辺と申します。よろしく申し上げます。

朝ドラのお話、また戻ってしまうんですけども、脚本といたしますか、キャストのほうも発表されて、『あまちゃん』で社会現象を巻き起こした宮藤官九郎さんが脚本を執られるってことで、キャストについての何か所感などがあればちょっとお伺いできればと思っております。

知事

キャストですか。いや、『あまちゃん』は本当におもしろかったし、良い方になって良かったな、というふうに思います。

輝子役も決まったということで、大変素敵な女優さんであります。茂吉役がまだ決まらないうところと、どういう方になるんだろうっていう、ちょっと楽しみと心配と両方ありますけども。

でも、本当に偉大なる歌人でありますから、その方とどういうふうな夫婦生活であったのかとか、いろいろ漏れ聞いてはおりますけれども、やはり別の視点から描くというようなこともありますので、茂吉に私たちは主眼を置きがちなんですけど、輝子さんが主人公ということなので、奥さんから見た茂吉はどういう感じだったのか、とかですね。

また、輝子さんの生き様というのは本当に素晴らしいものであります。大変な苦境にあってもめげないっていう、どのような状況になってもめげないで明るく頑張るというようなことは、皆を元気づけてくれるんじゃないかなと思って、朝ドラに非常にふさわしいんじゃないかな、と思います。

ただ、今までで一番不仲の夫婦だというようなことをありましたので、ちょっと心配ではありますけれども、そこはでも、『あまちゃん』のあの描き方を見ると、結構明るく描いてくださるんじゃないかな、と思って、大いに楽しみに、ワクワクドキドキして楽しみにしたいというふうに思います。

記者

ありがとうございます。

続きまして、知事も同席されてます大河ドラマの要望活動も、放映目指す時期としてはなかなか結構近いところがありまして、例えば、実現するなら山形をすごいフィーチャーする期間になるかな、と思うんですけども、朝ドラが決まったっていうところで、大河ドラマに寄せる思いっていうところももう一度お伺いできればと思います。

知事

そうですね。朝ドラが、正直思いがけず決まったということで、県をあげて喜びたいと思いますけど、「次はじゃあ、大河だ」というような意気込みですね、やはり皆さんと一緒に力を合わせて要請活動をしていければと。機運を盛り上げていく一助に私もなれば、と思っています。

最上義光という人物も、妹の義姫という方が、私非常におもしろいっていうか、素晴らしい方だと思っています。伊達政宗の母になるわけなんですけど、いろんな焦点を当てた見方があると思いますけどね。いずれにせよ、最上義光は私たちの敬愛するお殿様だったわけで、植木市を始めてくださったり、本当に皆に親しまれた方だというふうに思っています。

誇りを持って皆で考えていますので、悪名高いあのイメージをどうにか払拭していただ

きたい、という思いが私は強いんですよね。どんなふうにも描けるっていうのがすごいロマンではあるんですけど、悪役として描かれると大変地元としては非常に耐え難いものがありますので、ぜひ、きちんと最上義光を立派な武将として描いていただきたいというふうな思いで大河ドラマにさせていただければというふうに思っています。

以上